

---

平成 29 年度

まちづくり活動助成 活動視察

団体名 ふるさと徳重まちづくり会

「ひと・まち・歴史 歌でつながる ふるさと徳重」

■平成 29 年 11 月 19 日（日） 9 時 30 分～

■場所 緑区徳重コミュニティセンター

---

■ふるさと徳重まちづくり会

「ふるさと徳重まちづくり会」は、徳重学区を、明るく、楽しくおおらかな街にすることを目指し、次のような活動をしています。

- ①散歩やジョギングが盛んな扇川緑道の花壇づくり、「とくしげ」の花文字は好評です。
- ②小学生の登下校時の見守り
- ③「一軒一灯運動」で門燈の終夜点灯をして暗い夜道を減らしています。
- ④「サロン」活動ではコミュニティセンターで地域の人たちの交流をしています。
- ⑤「自治会加入促進」をして共助の基礎作りをしています。

■活動のようす

「地域“魅力”アップ部門」で選考された「ふるさと徳重まちづくり会」の活動を視察しました。今回は、徳重コミュニティセンターで開催された「なごやかサロン（徳重歴史講座）」です。コミュニティセンターに伺うと、すでに多くの参加者がお見えになり、講座開始時には 50 名ほどになっていました。

講座は、地元在住のフリージャーナリスト、淡河さんが講師となり、都市センター助成により作成した資料とパワーポイントを使って徳重の歴史を講義されました。

講義では、勅使ヶ池周辺では石器が発見されており、緑区で最初に人が住み始めたところではないか、また古窯跡が多く、出土する陶器の欠片から平安、鎌倉時代には盛んに焼き物が行われていたと推察できるとのお話が有りました。

参加者の中には熱心にメモを取られる方も多々見受けられ、大いに興味をそそられているようでした。

講師も、扇川の謂れやかかつて物流で使われていた話、熊野社が分社されてこの地に来た話など講義に熱が入り、予定していた時間内では講義しきれない状況で、11 月末に開催予定の「徳重歴史散歩」で改めて補足をする事になりました。

講座の後は茶話会の時間が設けられ、会の活動が放送された地元ケーブルテレビのビデオが流され、その時の様子を見ながら、集まった皆さんで用意された飲み物や茶菓子をほおぼりながら、和やかに談笑されていました。

また、講師がお持ちになった、古窯跡から出土した陶器片を手にして思いを馳せたり、シイの実を試食して昔を懐かしんだりしていました。

今回活動を視察させていただき、地域のコミュニティがしっかりしていると強く感じました。

また、都市センター助成が地域のつながりをより一層強くすることの一助になっていることを確信しました。

